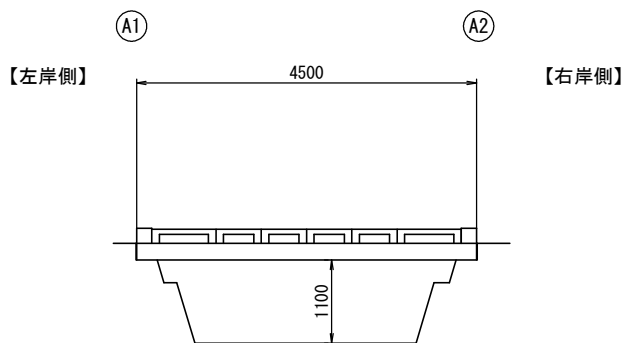
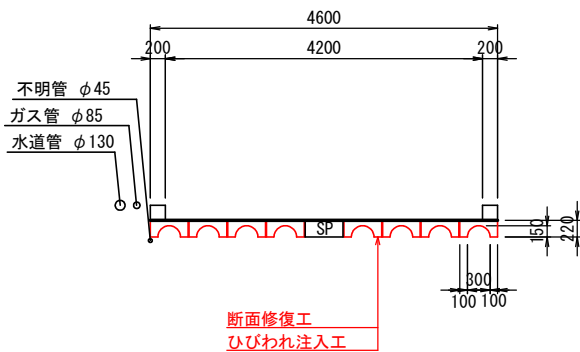


十日町2号橋 補修対策一般図

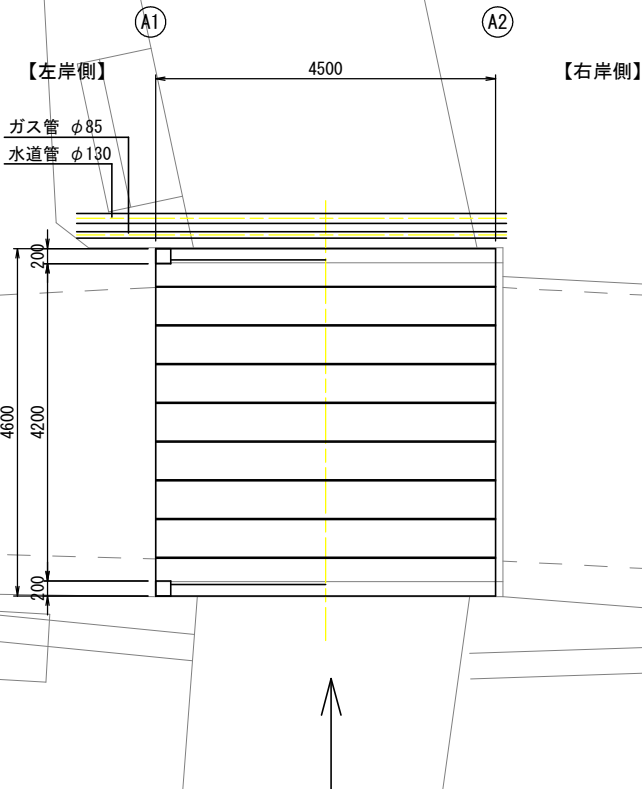
側面図 S=1:50



断面図 S=1:50



平面図 S=1:50



既設橋梁諸元

路線名	西1号線
交差施設	一級河川 橋場川
橋梁名	十日町2号橋
上部工型式	RC桁橋
橋長	L=4.500m
支間長	L=00.000m
幅員	有効幅員W=4.200m
斜角	$\theta=90^{\circ}$

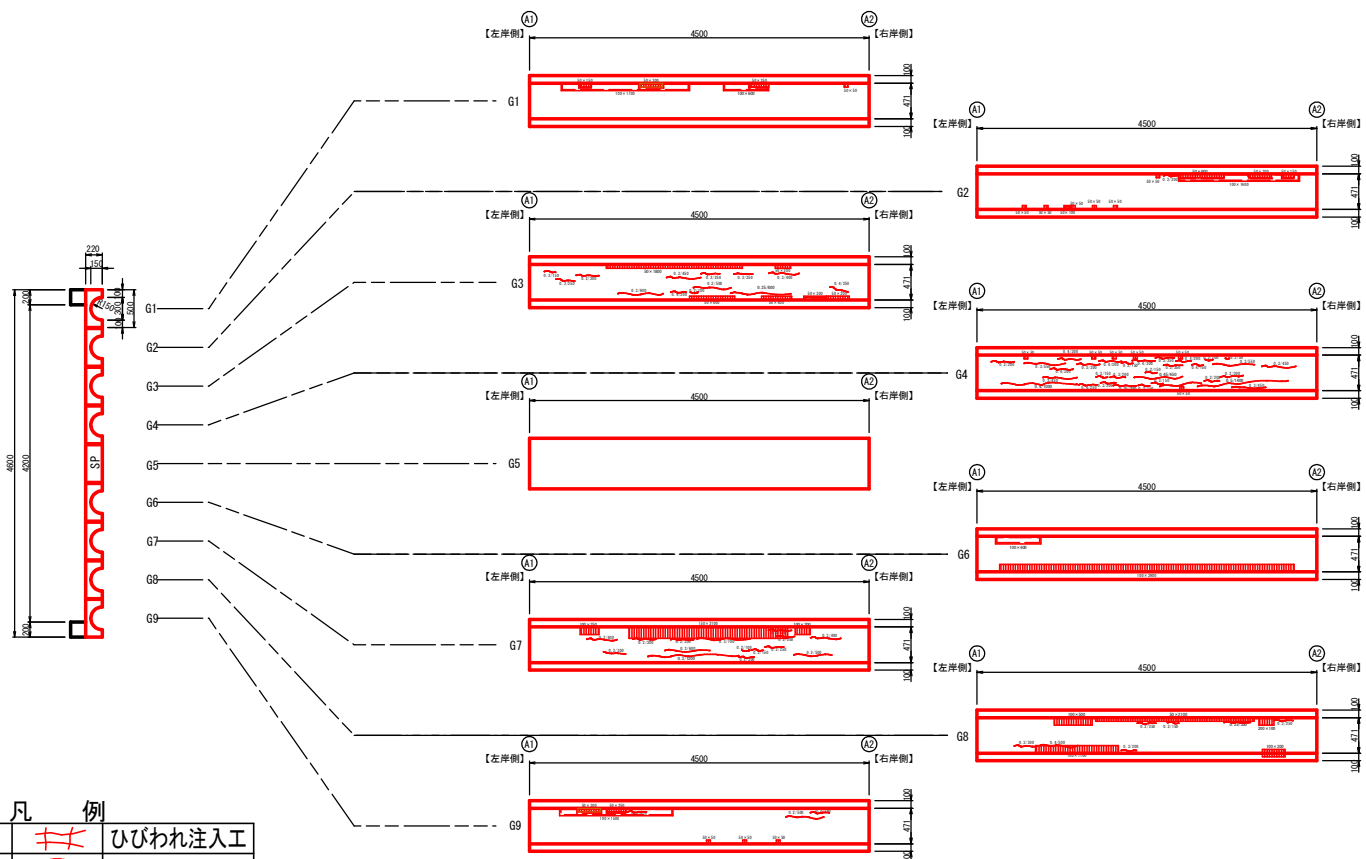
補修数量表 (全橋当たり)

種別	規格	単位	数量	備考
ひびわれ注入工	エポキシ	m	24.15	ひび幅0.2mm~1.0mm
断面修復工	無収縮モルタル t=50mm	m <sup>3</sup>	0.102	

令和4年度	工事番号	4橋梁第2号
西1号	魚沼市	十日町 地内
市道西1号線十日町2号橋補修工事		
十日町2号橋 補修対策一般図		
縮尺	1:50	図面全 2 葉の 1
測量	年月日	主任技術者
設計	エヌシーイー株式会社	R2年12月 主任技術者
魚沼市役所 建設課		

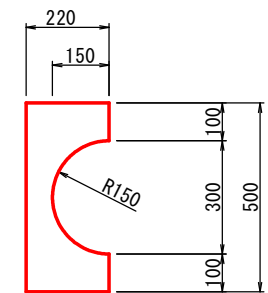
十日町2号橋 主桁補修図

下面展開図 S=1:50



ひびわれ	凡例	ひびわれ注入工
剥離・鉄筋露出		断面補修工
うき		

主桁断面図 S=1:10



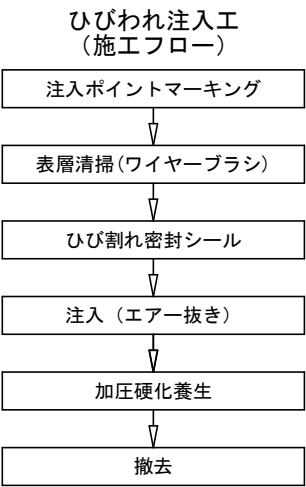
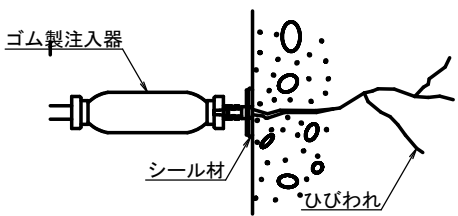
断面修復工（左官工法）

部位	幅/高(m)	延長(m)	面積(m2)	個数	小計(m2)	深さ(m)	小計(m3)
G1	0.100	1.700	0.170	1	0.170	0.05	0.009
	0.100	0.600	0.060	1	0.060		0.003
	0.050	0.050	0.003	1	0.003		0.001
G2	0.050	0.050	0.003	6	0.015		0.001
	0.050	0.100	0.005	1	0.005		0.001
	0.100	1.600	0.160	1	0.160		0.008
G3	0.050	1.800	0.090	1	0.090		0.005
	0.050	0.200	0.010	1	0.010		0.001
	0.050	0.600	0.030	1	0.030		0.002
	0.050	0.400	0.020	1	0.020		0.001
	0.050	0.300	0.015	2	0.030		0.002
G4	0.050	0.050	0.003	6	0.015		0.001
G6	0.100	0.600	0.060	1	0.060		0.003
	0.100	3.900	0.390	1	0.390		0.020
G7	0.100	0.250	0.025	1	0.025		0.001
	0.150	2.100	0.315	1	0.315		0.016
	0.100	0.200	0.020	1	0.020		0.001
G8	0.100	0.500	0.050	1	0.050		0.003
	0.050	2.100	0.105	1	0.105		0.005
	0.100	0.200	0.020	1	0.020		0.001
	0.100	1.100	0.110	1	0.110		0.006
	0.100	0.300	0.030	1	0.030		0.002
G9	0.100	1.500	0.150	1	0.150		0.008
	0.050	0.050	0.003	3	0.008		0.001
合計					1.891		0.102

ひびわれ注入工 (W=0.2mm~1.0mm)

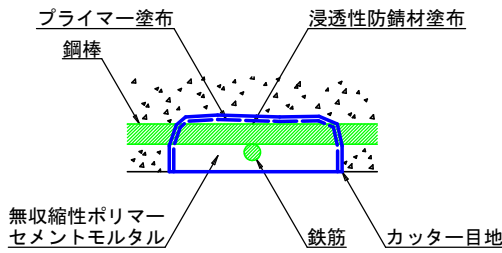
部位	長さ(m)	小計(m)
G2	0.2	
G3	0.15+0.25+0.3+0.6+0.45+0.2+0.1+0.25+0.5+0.25+0.8+0.4+0.25	4.500
G4	0.3+1.0+0.55+0.45+0.3+0.3+0.3+0.25+0.15+0.2+0.3+0.2+0.3+0.15+0.3+0.15+0.15+0.15+0.25+0.65+0.25+0.2+0.15+0.1+0.2+1.4+0.3+0.05+0.55+0.45+0.45	10.500
G7	0.4+0.3+0.3+0.3+0.6+1.2+0.7+0.1+0.2+0.15+0.25+0.3+0.25+0.5+0.4	5.950
G8	0.3+0.5+0.2+0.25+0.15+0.35+0.25	2.000
G9	0.25+0.5+0.25	1.000
合計		24.150

ひびわれ注入工 (W=0.2mm~1.0mm)

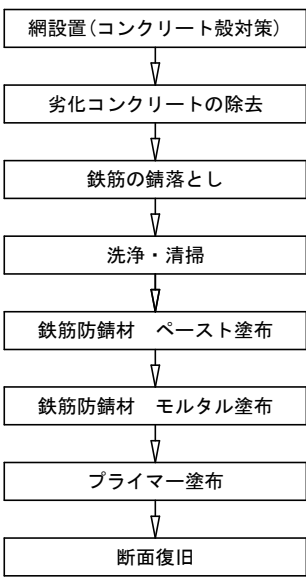


断面修復工（左官工法）

主桁の鉄筋露出部（はつり深さ50mm）



断面修復工（鉄筋露出）（施工フロー）



【特記】

- ・コンクリートははつり範囲は、事前にカッターで10mm程度の切込みを入れ、フェザーエッジが生じないようにする。
- ・腐食した鋼材のさびを完全に除去し、防錆材を塗布する。
- ・はつり深さは、防錆材を塗布出来るように、鉄筋から2cm程度まではつる。
- ・はつり深さが大きい場合、一般的に初めの1層は約5mm程度の薄めにして下地に強く押し付けるように塗付け、その後の塗り重ねは下層となじませるように数回に分けて塗り重ねる。塗り厚は、1日20mmを限界目安として10mm以内の厚さで塗り重ねる。
- ・仕上げは、下塗の硬化・乾燥を確認して実施する。
- ・上向き施工の場合は、自重や振動による材料の剥離に注意する。
- ・はつり深さは、現地計測により50mmとしたが、現地確認の上、実施する。
- ・断面修復実施前に、打音検査を必ず実施し、補修範囲を決定する。
- ・鉄筋塗装系は、淡彩系のコンクリート色(N75)を推奨する。

令和 4 年度	工事番号	4橋梁第2号
西1号	筋 魚沼 町 十日町 地内	
市道西1号線十日町2号橋補修工事		
十日町2号橋 主桁補修図		
縮 尺	図 示	図面全 2 集の 2
測 量	年 月 日	主 任 技術者
設 計	エヌシーイー 株式会社	R2年12月 日 主 任 技術者
魚沼市役所 建設課		